

Archive for 12 月, 2010

冬季オープンハイスクール

月曜日, 12 月 27th, 2010

12月24日(金)の午後2時より、冬季オープンハイスクールを行いました。学校行事などの都合で秋のオープンハイに参加できなかった人、進路希望が変わったためこれまで一度も有馬高校のオープンハイスクールに参加したことが無い人が対象です。約100名の中学3年生とその保護者の方が来校されました。

全体説明会では、①校長のあいさつ、②教頭より学校概要、入試の説明、③国際交流の紹介として、ウインマリーハイスクール短期訪問の報告、留学生のスピーチ、④生徒会本部役員生徒より学校行事とクラブ活動の紹介 を行いました。



その後、2つの学科に分かれて約1時間、それぞれの説明会を行いました。

総合学科



人と自然科



有馬高校のオープンハイスクールは、教師ではなく、生徒が中心になって学校説明を行うようにしています。中学生により深く学校を理解してもらおうと同時に、説明する高校生にとっても「人前で話す」ことでプレゼンテーション能力を磨く良い機会になると考えています。

生物活用 手作り切干大根をつくる 後編

金曜日, 12月 24th, 2010

先日紹介した、生物活用の授業で実施している手作り切干大根作りですが、ついに完成し、このたび調理実習、試食会を行いました。



天日干しをし約2週間。予想以上の完成度の高さに生徒はびっくり。『こんなに小さくなるの』という声があちこちから聞こえてきました。生のダイコンを切干大根にすると重量は約1/10に減少します。一方で栄養価は、カルシウムが約15倍、鉄分は約32倍、ビタミンB1、B2は約10倍になるうえに、干すことによってうま味成分のグルタミン酸やブドウ糖も増えるというから驚きです。



早速授業で調理。今回は生徒自らがレシピを調べるということで、各自がトッピングを持ち寄り調理しました。



炒めて香ばしさを出している班、自然な甘みを出す為に水に戻した液をダシに加えた班、香りをつけるためごま油を加えた班、見た目を良くするためインゲンやカイワレ大根をのせた班、ショウガ風味の味付けにした班など、各班工夫を凝らして調理していました。



出来上がったものを全員で試食。今回どれが自分の好みかを人気投票しました。自分たちで作った、天日干し切干大根の煮物は、歯ごたえがあり、風味もよく、非常においしかったです。



定時制 生活体験発表会

水曜日, 12月 22nd, 2010

12月22日 本校定時制課程に通うI・Mさんから、この10月に兵庫県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会で、最優秀賞となり、11月に行われた全国大会で厚生労働省職業能力開発局長賞を受賞したスピーチを、本校全日制課程の生徒たちに発表して頂きました。



複雑な家庭環境の中、母の死から、母の自分への思いを感じて、自分を奮い立たせて前に進んでいく力強い発表でした。

親を亡くした哀しみの中、自分が生きていく理由を見つけられず、悩み苦しんでいました。様々な葛藤の中、何にもやる気が起こらない時もありました。しかし、「そんな自分ではいけない」と思い、また自分を支えてくれている多くの人たちにも励まされ、今を生きることに目標を見つけました。

彼女は看護師を目指して精一杯生きています。



7分間の短いスピーチでしたが、全日制課程の生徒たちは、彼女の話を通して、自分と同じ年頃の人が精一杯頑張っている姿に感動していました。



三遊亭亜郎さん:学校活性化講演会

水曜日, 12月 22nd, 2010

12月21日 ミュージカル落語家の三遊亭亜郎さんが、学校活性化講演会に来てくれました。



亜郎さんは、劇団四季にも所属していたことがあり、落語とミュージカルを融合させた新しい分野の創作に挑戦しています。今回は、そんな作品の中から、さだまささんの楽曲「償い」を題材とした「つぐない」をお話していただきました。



「つぐない」は、交通事故の加害者が「いのちのつぐない」のため、被害者の奥さんへ送金を、何年もかけて続けていくお話です。奥さんは「もうお金を送ってくれなくても結構です」と加害者に対して手紙を送るのですが、加害者は償い続けるために送金を続けました。

このお話は、命の尊さ、犯した罪への償いを考えさせるため、運転免許更新の際の放映ビデオ内で使われているほか、交通キャンペーンにも使用されています。

お話を聞いた生徒たちは、「いのちのつぐないのため、何年にも渡ってお金を送る加害者の姿勢に感動した」と言っていました。



[人と自然科 ブドウ畑 穴掘り大変です](#)

火曜日, 12月 21st, 2010

現在、人と自然科1年生を中心に、ブドウ畑の穴掘りを進めています。



『穴肥え』といい、来年おいしいブドウを収穫するために、落ち葉(先日学校中の落ち葉拾いをしたというニュースをお伝えしたものです)や牛糞、わらなどの有機物、石灰などをこの穴に入れます。



実習ではショベルを持ち、男女関係なく各自が1辺約70cm×1m、深さ約60cm～70cmまで掘っていきましました。最初はうまく道具を使えない様子でしたが、実習が進むにつれて楽しくなってきたようで、ペースも上がっていき、早い生徒で1時間、遅い生徒も2時間で完成しました。大変な実習も楽しく真剣に頑張ることができる。さすが人と自然科の生徒です。



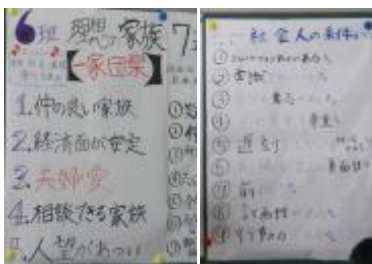
次回冬休みの実習では、堆肥などを投入します。

産業社会と人間「発想法を学ぶ」

月曜日, 12月 20th, 2010

12月17日(金)の産業社会と人間(総合学科1年次生の授業)で、「発想法を学ぶ」授業を行いました。ブレインストーミングの手法を用いて、

A 理想の家族とは B 社会人として必要な条件とは



の2つのテーマについて5人の班で話し合い、最後にクラスで発表しました。単純なテーマですが、他人の意見を聞くことで、固定された自分の視点を変え、思考力を鍛えようという目的です。ここで考えた内容をもとに、1月に小論文を書く予定です。



人と自然科 小高連携事業 草花苗の鉢替えを伝授

月曜日, 12月 20th, 2010

12月16日(木)三輪小学校6年生95名が来校し、人と自然科2年生 フローラルアートを選択している19名が先生役となり、草花苗の鉢替え作業を行いました。



10月にセルトレイに播種したパンジーの苗を、この日はポリポットのほうに移し替える作業をしました。最初にセルトレイから苗を取り出す方法や、ポリポットに入れる土の量などを説明した後、早速作業に移りました。小学生は自分が播いた種が発芽しているのを見て、とてもうれしそうでした。そしてやさしく、わかりやすく高校生が指導するなかで、発芽した苗を折ってしまわないようにゆっくり丁寧に作業していました。



鉢替えした草花苗のうち、今回各自2鉢持ち帰り、自分で育てながら草花の栽培について学びます。そして残りの苗は、有馬高校生が丹精込めて育て、花を咲かせ、卒業式の時に小学校に届けます。そして会場装飾に利用したり、卒業生入場の時に手提げの鉢に入れて、各自が手に持ち入場する予定です。

総合学科 課題研究発表会

金曜日, 12月 17th, 2010

12月16日(木)総合学科3年次生の課題研究発表会を行いました。「課題研究」とは、高校での学習で自分がもっとも興味をもった内容について、各教科の講座に分かれ、調査研究、作品制作、検定受験のための学習などを行う授業です。発表会では、各講座の代表生徒が、1年間の成果を発表しました。

大学の先生にも見ていただき、最後に「表現力の豊かさにびっくりしました」とご講評をいただきました。

(写真にカーソルをおくとタイトルが出ます。)



1. 体育「プロ野球選手のケガについて～プロ野球選手がプロになるまでに経験したケガについて」 研究発表

2. 農業「病害虫との戦い～農薬を使用しない栽培を目指して～」

3. 英語「歌詞の英訳と絵本づくり」 Good bye My Dear Days 「Fair Trade」 研究発表



4. 数学「三角形の面積」 数学検定受験のために学習した内容の一部の紹介として、三角形の面積の求め方を3つの方法で証明してみせました。

5. 福祉「福祉とともに」バリアフリー住宅やユニバーサルデザインの研究などの他、手話による絵本の紹介も行いました。

6. 地歴「日本の食糧安全保障」 研究発表



7. 生物「植物色素の分離」&「未知の生物プラナリア」研究発表と小高連携授業の報告

8. 保育「幼児参加型絵本の作製」自分たちで作った絵本の読み聞かせを行いました。

9. 被服「ファッションショー～作るよろこび 着るよろこび 魅せる喜び～」音楽に合わせて、自分たちが作った服でのファッションショーです。



10. 商業「検定取得」簿記実務検定、情報処理検定などの受検結果

11. 国語「創作した小説の紹介」と「研究 昔話に見られる日本人の心理～勧善懲悪の心～」

12. 物理化学「ゲゲゲのビタミン&小学生」ビタミンCに関する研究発表と小高連携授業の報告



13. 音楽「あがり症克法」 研究発表

14. 工芸「電動轆轤を使った陶芸作品」制作の過程と作品の紹介

15. 書道「私たちの書活動」1年間の取り組みをスピーチとビデオで紹介



16. 美術「美術系」作品紹介 制作に対する思いを話しながら作品を紹介しました。

17. 食物「調べて 考えて 作った 食事療法！」肥満の研究とダイエットメニューの紹介

第1学年 外部講師による小論文指導実施

金曜日, 12月 17th, 2010

12月15日(水)第1学年の生徒を対象とした小論文指導が実施されました。講師として Gakken の鈴木先生をお招きし、2年後の進路実現に向けた小論文の書き方をご指導いただきました。



先生からは、

- ・小論文試験から、大学や専門学校、企業が何を見ているのか
- ・作文と小論文の違い
- ・近年の小論文テーマ出題傾向
- ・小論文の書き方

など、スライドを用いて、具体的かつ丁寧にご指導いただきました。生徒は全員熱心にメモを取りながら聞いていました。



第1学年では今回の講演を参考にし、次回小論文模試に挑戦。来るべき進路の戦いに向け、さらにレベルアップしていく予定です。

[人と自然科 地域自然保護 体験プログラム作成に向けて part2](#)

金曜日, 12月 17th, 2010

12月14日(火)人と自然科3年生選択科目(学校設定科目)地域自然保護の授業にて、体験プログラムの企画立案作業を行いました。地域自然保護では9月からありまふじ公開セミナーと連携し、有馬富士公園での実習や、専門家を招いた講義を受講し、1月にはそれらの体験をもとにして、生徒自らが地域の方を対象とした、有馬富士公園での体験プログラムを企画する予定で活動しています。

今回は前回ブレインストーミングの手法を用いて明らかとなった、公園の良い点・改善する点を踏まえて、実際に体験プログラムの中身を企画する作業に移りました。



人と自然の博物館、藤本先生から企画の進め方について説明を受けたあと、班ごとに作業を開始しました。約4カ月にわたり取り組んできただけあって、各班とも活発な意見交換が行われました。



そして、提案された企画内容が実行できるかどうか、園内に出て情報収集を行いました。

『公園内の里山で山菜などの食材を探し、かやぶき民家で料理する』というプログラムを考えている班は、実際にかやぶき民家を訪れ、管理されているボランティアの方へのインタビューも行いました。



今後は年明けまで企画の立案作業を行い、1月中旬には企画内容のプレゼンテーションを行う予定です。